

「道場八多地区まちづくり協定」締結

「活力と魅力のある流通生活拠点」と
「ゆとりとうるおいのある住み良い田園住宅地」が共存する
「ゆとりと活力のある環境共生都市」の形成を目標として

北区北東部に位置する道場八多地区では、昭和60年の山陽自動車道等のルート発表を機に、地域の機運が高まり、区画整理事業を活用したまちづくりを行うこととなりました。さらに、健全で良好な市街地形成を図ることを目的とした「道場八多連合まちづくり協議会」が平成10年1月に設立され、住民集会やまちづくりアンケート調査、まちづくりニュース発行などの活動をとおして、まちづくりに関するルールの検討等を行い、平成12年に「まちづくり構想」を定めました。



平成13年10月には、その構想に基づいて「地区計画」を決定（平成15年6月変更）しましたが、地区計画で定めることのできない、建築物・広告物の意匠、ファミリー形式住戸の推奨、周辺環境への配慮な

どについても、まちづくりルールとして定めるべく、検討を進めてきました。

この度、同協議会において、これらのルールをまちづくり協定案としてまとめられたため、「神戸市地区計画及びまちづくり協定等に関する条例（まちづくり条例）」に基づき、平成17年7月12日に神戸市長と「道場八多地区まちづくり協定」を締結しました。今後、まちづくり協定を定めたことがまちのイメージアップにつながり、また、すぐれたまちの整備に役立つことを期待しています。

まちづくり条例に基づくまちづくり協定としては、市内で11番目、北区内で3番目の締結となります。



まちづくり協定区域図

都市整備公社道場八多土地区画整理事務所
都市計画総局地域支援室

「みちの学校」を開催しました

1. みちの学校って？

建設局では、「みんなで守り育てるみち」を子ども達と考える場として、平成 15 年度から「みちの学校」を開いています。

「みちの学校」では、小学校の“総合的な学習”の時間に、子ども達と建設局等の職員が一緒になって、身近なまちの「みちの役割」や「バリアフリー」について勉強します。

みちの学校で勉強するテーマ例

- ① ○○地区発見
- ② ○○地区のバリアフリー
- ③ 災害に強い、安全なみち・まち
- ④ まち・みちに関する疑問・質問（舗装、騒音、橋など）

2. 何校くらいでしてるの？

平成 16 年度 5校で実施

平成 17 年度 25 校程度を予定

17年度1学期の実施校

学校	区	学習内容
雲雀ヶ丘小	長田	雲雀ヶ丘のまちいろいろ発見
中央小	中央	中央小学校区のバリアフリー
本多聞小	垂水	わたしたちのまち「本多聞」
垂水小	垂水	調べよう！垂水地区のバリアフリー
板宿小	須磨	じまんしよう！わたしたちのまち「板宿」
真陽小	長田	(下記)
鈴蘭台小	北	(下記)
東須磨小	須磨	みんなにやさしい町を考える

(建設局道路部計画課)

バリアフリーのまちづくり

「真陽・新長田」～真陽小学校

と き：平成 17 年 6 月 28 日 2～4 時限

参加者：4 年生 28 名

1. バリアフリーのみちづくりについて、勉強しました。

2. 車いすに乗って、まちのバリアフリーを体験しました。



- ⊕：点字ブロックの上に自転車が置かれてて危ない
- ⊖：バリアフリーな町にするためにみんなにできることはないかな？

- ⊕：なかなかまっすぐ進まない
- ⊕：段差をこえるのがたいへんだ
- ⊕：自転車がいっぱい止まってすすみにくいなあ

みんなにできることは？

- ⊕：歩道に自転車を止めない
- ⊕：体が不自由な人がいたら助けあう
- ⊕：歩道を歩く時は、さわがない

探検しよう！わたしたちのまち鈴蘭台

～鈴蘭台小学校

と き：平成 17 年 6 月 29 日 2～3 時限

参加者：3 年生 81 名

1. 鈴蘭台地区の歴史や、まちにあるものを勉強しました。

2. まちのいいところを見つけに、探検に出ました。



- ⊕：鈴蘭台は昔、山や田んぼでした
- ⊕：え～っ！

- ⊕：鈴蘭台のいいところ（きれい、便利、安全）いっぱい見つけました
- ・緑（花や木）がいっぱい
- ・高いところからの景色
- ・ガードレールや標識があって安全
- ・区民センターや保育所があって便利

- ⊕：知らないことがいっぱいわかって楽しかった。
- ⊕：もっと鈴蘭台のことを知りたい

勉強して、鈴蘭台のことをもっと好きになってくださいね

シリーズ 各区ですすむ住民主体のまちづくり 「地域の力と情熱があふれる住みよいまち」～須磨～

1. 須磨区の歴史

須磨区内には江戸時代に、板宿・大手・東須磨・西須磨・妙法寺・車・白川・多井畑という八つの村々がありました。明治45年に須磨町となった後、大正9年に神戸市に編入。昭和6年に区制が実施されて須磨区となりました。

「須磨」は昔、上記の東須磨・西須磨の地域のことを指していました。この須磨の地名は、六甲山系の西端、鉢伏山・鉄拐山が海に迫る平地のすみで、畿内の西すみに位置するため「すみ」がなまって「すま」になったと言われています。

2. 須磨区の姿

須磨区は、南部の古くからある市街地と北部の大規模なニュータウンとの二つの大きな地域に分かれています。閑静な住宅地域が多くありますが、須磨海岸をはじめ、海浜公園、須磨浦公園、須磨離宮公園、総合運動公園、奥須磨公園や須磨寺公園などの大規模で美しい公園が数多くあるのも須磨区の魅力となっています。また、「源平一ノ谷合戦」などの舞台になったことから、多くの史跡にも恵まれています。現在、須磨区は面積30.00km²、人口約17万2千人となっています。

3. 須磨区の中長期計画

須磨区では、2010年（平成22年）の将来像を「地域の力と情熱があふれる住みよいまち」とし、この将来像を実現するため、重点的に取り組むべき次の6つのテーマを設定しています。

1. 安全・安心のまち
2. 人にやさしいまち
3. 共に地域で元気にくらすまち
4. 子どもが健やかに育つまち
5. 花と緑に囲まれた美しいまち
6. 地域の魅力を育み活かすまち

以上の重点テーマを視点に、須磨区では、地域の力を活かしたまちづくり（協働と参画のまちづくり）を進めています。



← JR鷹取駅の駅北広場

4. 須磨区内のまちづくり

須磨区では、現在「垂水妙法寺線」「中央幹線」「須磨多聞線」の3つの街路事業が進められています。「中央幹線」については、現在、月見山本町と須磨本町（千守交差点）間の整備が進められており平成19年春には全線開通する見込みとなっています。また、近年整備された街路事業の「山麓線」（板宿～若木町）と「千森線」（千守交差点～須磨寺町）の他に、JR鷹取駅の駅北広場の整備と区画整理事業も進んでいます。さらには松風町にJRの新しい駅が平成19年春頃設置される予定にもなっており、須磨区の交通網は大きく変化しようとしています。

これらの交通網整備にあわせ、地域のまちづくりも、それぞれの課題や地域の特性を活かし進められています。震災からの復興を進め防災拠点のあるまちづくりを進める千歳地区。須磨の歴史や史跡を活かした商店街の活性化に取り組む板宿商店街、須磨浦商店街、須磨寺前商店街。細街路問題や商店街の活性化に取り組む月見山本町。細街路と建築ルールの策定で地区計画の取り組みを進める北町。防犯の取り組みとまちづくり協定でうるおいあふれる住みよいまちづくりを進める北須磨団地。JR須磨駅前の暫定ロータリー整備の取り組みや駅周辺のまちづくりを進める須磨浦通など、他にも多くの地域の皆さんが、行政と協働で、自らのまちづくりに知恵と力を注ぎ、取り組みを進めています。

5. おわりに

須磨区は、美しい海と山があります。そして西神や垂水・明石と三宮・大阪を結ぶ交通の要所でもあり、良好な住環境が維持されています。しかしながら、マナーの啓発や安全で安心なまちづくりの推進など、まだまだ取り組んで行かなければならない課題も多くあるのも現状です。これらの課題解決のためには、先に述べた須磨区の将来像実現に向け、地域と行政との間に良好なパートナーシップ関係を構築し、地域と行政が協働でまちづくりを進めていかなければならないと考えています。（須磨区まちづくり推進課）



→ ワークショップの風景

協働のまちづくり(これまでとこれから)

～みるしるウォーク復興神戸～ (全6回)

第3回 復興のまち長田・古今横断、食とものづくり

長田神社～新長田～駒ヶ林

日 時

9月10日(土)9:30~13:00

(当日の受付は 9:15 から)

集合場所 長田神社

(高速鉄道・市営地下鉄長田駅下車 10分)

小雨決行 参加費 無料

○復興が着々と進められている長田は、源平の歴史の舞台であり、また職や食のまちでもあります。さまざまな表情を持つ長田のまちの古今を横断します。



今後の予定

☆10/2 (日) 湊川・新開地周辺

下町の住まい再建

☆10/22 (土) 六甲道・水道筋・王子動物園

人と動物の復興物語(親子向き)

☆11/12 (土) 須磨浦~須磨水族園

秋の休日、須磨の山、海、歴史めぐり

※各回とも開催日の10日前頃に参加証をお送りします。

詳しくは、参加証をご覧ください。

※次回以降については具体的な内容が決まり次第、順次広報します。

参加希望の方は

参加者全員の氏名・年齢・代表者の住所・電話番号、参加希望の日(複数可)を記入し、

FAX: 361-4546

Eメール: mati3@kobe-toshi-seibi.or.jp

こうべまちづくりセンターまで

各回定員 50名。多数のときは抽選。

主催 協働のまちづくり~これまでとこれから~実行委員会
神戸市

シンポジウム 協働のまちづくり これからのかたちとは

震災復興 10年、新たな協働のかたちへの挑戦

日時 9月7日(水)午後3時~5時

場所 SITE KOBÉ (アスタくにつか4番館4F・新長田駅下車南へ焼く10分)

パネラー 東朋治氏((株)神戸ながたTMO)・岩崎俊延氏((有)プラン まち さと)

慈憲一氏((有)六甲技研)・垂水英司氏((社)兵庫県建築士会)・蓑原敬氏(都市プランナー)

コーディネーター 小浦久子氏(大阪大学大学院)

最近のまちづくり活動から、「協働のまちづくり」のあるべき姿を考えるシンポジウムです。

主催 協働のまちづくり~これまでとこれから~実行委員会・(社)日本都市計画学会関西支部

申し込みは、まちづくりセンター(FAX 078-361-4546)まで

e-mail: mati2@kobe-toshi-seibi.or.jp からどうぞ